

◆エントランスホール

<工芸>

辻 清明 ガラス金銀彩蕪鉢

<陶芸>

富本 憲吉 染付色絵梅枝文瓢形徳利
 浜田 庄司 赤絵柿釉蓋物
 坂本 素行 灰釉花器
 武田 楽 燿変用器画文象嵌壺
 川合 修二 辰砂網目魚文壺
 大平 和正 自然釉水器
 飯 能 焼 筒描山水文桃形皿
 飯 能 焼 筒描草葉文水注
 飯 能 焼 筒描麦文皿

<絵画>

棟方 志功 波乗菩薩の柵 40.0×30.0 裏彩色木版
 三岸 好太郎 道化 F3 水彩

<彫刻>

関 頑亭 胎蔵 高 104.0 木心乾漆

◆第1展示室

—新宿中村屋ゆかりの作家作品を中心として—

<彫刻>

荻原 守衛(碌山) 女 高 98.3 ブロンズ
 中原 悌二郎 若きカフカス人 高 42.0 ブロンズ
 高村 光太郎 手 高 37.0 ブロンズ

<絵画>

中村 彝 裸婦立像 M0 油彩
 中村 彝 巖 P12 油彩
 高島 達四郎 静物 F30 油彩
 曾宮 一念 静物(洋梨) M8 油彩

—たましんコレクション代表作品—

<彫刻>

澤田 政廣 白夢に襲われた稲田姫 高 88.0 ブロンズ
 山崎 寛 みちしるべⅡ 高 112.0 木彫(樟)
 中国・山東省 二尊仏(東魏時代磨崖仏) 高 46.5 石彫

<絵画>

跡見 泰 風景 F6 油彩
 石川 寅治 風景 F8 油彩
 鳥海 青児 浜辺の小屋 F8 油彩
 金子 保 富士 F15 油彩
 武者小路 実篤 人形 F4 油彩
 椿 貞雄 夏子正月晴着像 M5 水彩
 椿 貞雄 花ノ囿(牡丹) F30 油彩
 寺内 萬次郎 横臥裸婦 P8 油彩

◆第2展示室

近代美術の流れ —大正の絵画—

<絵画>

中沢 弘光	芸妓	[大正15年]	F8	油彩
伊原 宇三郎	裸婦	[大正15年]	F8	油彩
伊原 宇三郎	パリ郊外(モレー)	[大正14年]	F8	油彩
倉田 三郎	根川の眼鏡橋	[昭和3年]	F8	油彩
中川 八郎	瀬戸内風景	[大正4年]	P12	油彩
熊岡 美彦	プレハ島漁村	[昭和4年]	F10	油彩
岡 鹿之助	村の一隅	[大正15年]	F10	油彩
岡田 三郎助	水辺の柳	[大正8年]	変25	油彩
岸田 劉生	初冬の田畑	[大正2年]	F10	油彩
河野 通勢	河柳の木の下で	[大正3年]	P12	油彩
石井 柏亭	風景	[大正11年]	変10	水彩
古賀 春江	西陣景	[大正4年]	F4	油彩
片多 徳郎	風景	[大正2年]	F4	油彩
鹿子木 孟郎	海景	[大正14年]	変100	油彩

<彫刻>

アリストイード・マイヨール トルソー ブロンズ
 オーギュスト・ロダン カレーの市民(第一試作品) ブロンズ

◆倉田三郎記念室

倉田三郎 旅の素描—オーストリアを描く—

ウィーン	市電にて	9.7×13.9	ペン
	食事風景	11.8×19.0	色鉛筆
	公園で	11.8×19.0	色鉛筆
	木陰	15.0×20.1	鉛筆・水彩
	寺院の玄関(カールス教会)	15.0×20.1	鉛筆・水彩
	山の風景	10.6×14.7	ペン
	ホテルの食堂	15.0×20.1	ペン・水彩
	ヴォティヴ寺院	20.1×15.0	鉛筆・水彩
	村からの風景	19.8×31.0	コンテ・木炭
	丘の見える道	23.1×34.8	鉛筆
	教会	21.0×25.0	鉛筆・水彩
	カールス教会	24.5×28.0	コンテ・水彩
	街角	28.7×36.5	コンテ・水彩
	宮殿の庭師	27.9×37.5	コンテ・水彩
チュルネルバッハ	点在する家々	21.0×25.0	コンテ・木炭
	道を行く人	21.0×25.7	コンテ・木炭
(地域不明)	公園の道	25.5×20.5	コンテ・水彩
	教会を囲む家々	24.5×33.1	コンテ・水彩
	森への小道	21.0×25.5	コンテ・木炭
	丘の上の城	27.8×35.7	鉛筆・水彩